

超高臨場感通信技術 Kirari!

国際的なスポーツイベントへの貢献

Kirari!は、観戦者が競技会場から離れた場所においても、あたかも競技場にいるかのような観戦体験を実現するための通信技術です。Kirari!は、スポーツに限らず、国内外の歌舞伎のイベント、米国オースティン開催の世界的テクノロジーイベント、女性3人組テクノポップユニットによる世界三都市同期パフォーマンス、新国立競技場柿落しイベント、日本のプロサッカーリーグ・米国プロ野球リーグのライブビューイングなどのさまざまな実証実験を積み重ねていきました。

本稿では、セーリング競技会場でのKirari!の活用事例を紹介します。セーリング競技では、レースが陸から離れた沖で行われるため、観客は防波堤から双眼鏡を使って観戦する必要があります。今回、国際的なスポーツイベントのセーリング競技にて、通信技術を活用することによってこの問題を解決し、あたかもクルーズ船の特等席からレースを観戦しているかのようなリアルを超える革新的な観戦スタイルの創造にチャレンジしました。具体的には、水平解像度12Kに及ぶ超ワイドなレース映像を、5G（第5世代移動通信システム）と超高臨場感通信技術 Kirari!を用いて、観客席近くの長さ55mの洋上ワイドビジョンにライブ中継しました。

また、超ワイド映像は、大型LEDディスプレイ設置した遠隔会場へもライブ中継され、現場の臨場感を伝えました。

超高臨場感通信技術 Kirari!は、離れた場所へ超高臨場感での映像配信を可能とします。エンターテインメントやスポーツの試合などが首都圏に集中する中、本技術があれば、一流のコンテンツを、地方でも臨場感を持って楽しめるようになります。加えて、病気などにより長距離の移動が難しいかたでも、近隣への移動のみで楽しむことが可能となります。地域地域に臨場感の高いコンテンツをリモート中継することで、人々の移動も減り、環境にも貢献できる可能性もあります。

超高臨場感通信技術 Kirari!の今後の予定

商用5Gと研究所が開発した超高臨場感通信技術 Kirari!を用い、超ワイド映像の中継を実施しました。横解像度12Kの超ワイド映像は、55mの洋上ワイドビジョンと遠隔地にある大型LEDディスプレイにて表示され、選手や関係者、メディアの方が体験され高い評価をいただきました。本プロジェクトで使用した通信技術を用いれば、同じ競技会場内にとまらず、海外も含めた遠隔へのライブビューイングも可能となります。コロナ禍において、NTTがめざすリモートワールドの実現に向けてのショーケースと位置付けることができます。今後は5G、さらにはIOWN (Innovative Optical and Wireless Network) のオールフォトニクス・ネットワークをインフラとして、スポーツやエンターテインメント分野を中心に、さらなる通信技術の研究開発を進めていきます。

(2021年度技術ジャーナル10月号より抜粋)



図1: Kirari!の利用イメージの例

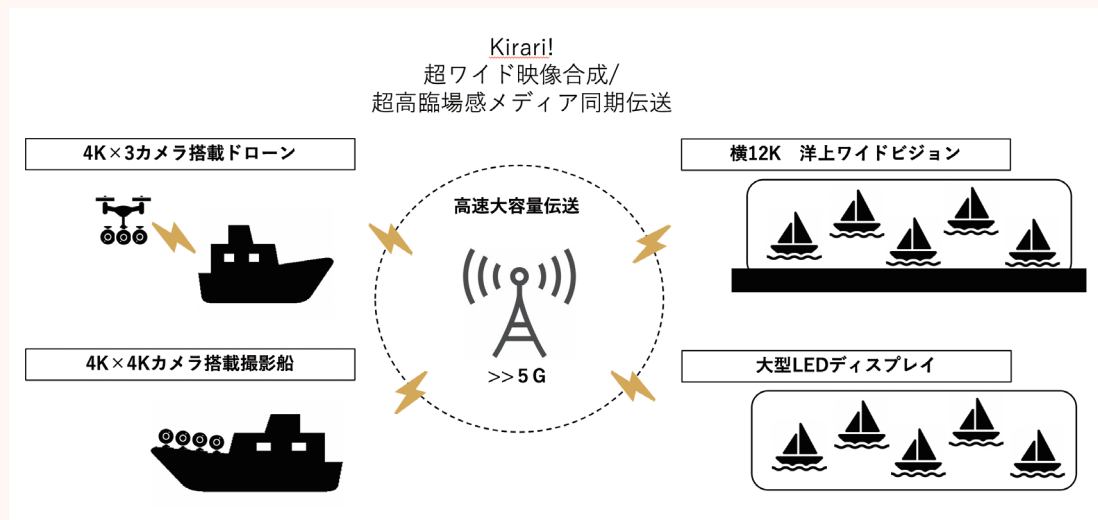


図2: 取り組みの全体像